

一衣帯水 VOL.3

横浜市立大学医学部看護学科の皆さん、你好！中日友好病院国際部で青年海外協力隊看護師隊員として活動している看護学科一期生の岩崎春香です。日本は2020年東京オリンピック関連のニュースで大変盛り上がっていますね！皆さんご存知の通り、2008年北京で夏季オリンピックが開催されました。2022年には北京で冬季オリンピックが開催される予定です。ひとつの都市で夏季冬季オリンピックが開催されるのは史上初だそうです！



2008年北京夏季オリンピックの様子



2022年北京冬季オリンピックに向けたプロモーション

一衣帯水 VOL.1でお伝えしましたが、中日友好病院は2008年北京オリンピック唯一の選手・監督・審判とオリンピック委員会役員を受け入れることができる指定病院で、国家体育场（「鳥の巣」スタジアム）の医療保障任務も担いました。2022年の冬季北京オリンピックでも同様の役割を担う予定です。2008年北京オリンピック時の、中日友好病院で働くスタッフの仕事が高く評価されたと言っても過言ではありません。

**華やかな舞台の成功の裏には、様々な人々の協力が必要不可欠です。
多くの人々の協力がなければ、華やかな舞台は成り立たないのです。**



選手の搬送を行うボランティアスタッフ



パラリンピック時、転倒した選手の介助を行うボランティアスタッフ

一衣帯水 vol.3 は2020年東京オリンピックに向けて、私が日々関わる同僚たちが2008年北京オリンピックでどんな仕事をしていたのか、少しでもご紹介したいと思います。

2008年北京オリンピック時、あなたは何をしていましたか？

外来 陳さん



中日友好病院内のオリンピック部署に約1年勤務しました。看護師とは違った仕事内容で、本当に忙しく大変でした。副病院長のスピーチ原稿を書く、文章を沢山書くなどと、普段看護師ではできない仕事を沢山経験しました。



予約室 懂さん

ドーピング対策の部署に配属され、専用キットを持って鳥の巣スタジアムに行きました。

外事部 尹さん



選手等の入院に備え、病院待機していました。日本語担当と英語担当一人ずつ、毎日病院に泊まり込みました。

当時の写真



当時は大学2年生で、ボランティアとして参加し、鳥の巣スタジアムと報道局のビル間を走るバスの案内を担当しました。オリンピック開催時の8月は多くの大学生は休みのため、私を含め沢山の大学生がボランティアとして活動しました。

外来 王さん



鳥の巣スタジアムで医療ボランティアをしました。夏の暑い中応援するため、熱中症になる方も少なくありませんでした。観戦する方はお気をつけください



外来 程さん

私も程さんと同じく鳥の巣スタジアムで医療ボランティアをしました。主に観戦者の一次救急対応で、医師と共に医務室待機していました。10年以上経って沢山の同僚が当時鳥の巣で働いていたのだと知りました。



外来 賀さん

オリンピックという世界的にも大きなイベントの成功は、本当に多くの人々の協力の上に成り立っていると改めて感じました。東京オリンピックも多くの人々が協力し是非成功して欲しいですね！